

1 背景とねらい

近年、県北部や高冷地帯において夏どりだいこんの産地化が進められており、栽培面積が急速に拡大されている。これらの産地の定着化と規模拡大を図るためには、特に需要の伸びの著しい青首だいこんを全出荷期間にわたって栽培し、有利販売を図っていく必要がある。

しかし、一般に青首だいこん品種は抽台性などの関係から、早まき作型においては優良品種が少ない。本県では、昭和61年度に5月下旬～6月下旬は種品種として品質、収量性に優れた「いわて青首」を推奨品種とし、高い市場評価を得ている。

そこで、この品種のは種期を前進させることができれば、産地にとって販売上有益であることから、その可能性について検討した結果、その成果が得られたので指導上の参考に供する。

2 技術内容

- 1) 「いわて青首」は、「おはる」より晩抽性であるので作型を1旬前進させることが可能であり、は種期を5月中旬～6月下旬とする。
- 2) 適応地域は県北部、高冷地帯。

3 指導上の留意事項

- 1) は種期の安全最低気温は、は種後15日間の最低気温の平均が5℃以上となる日を目安とする。
- 2) 6月播種は生育後半肥大が早まるので適期収穫につとめる。

4 試験成績の概要

表-1 は種期別最低気温と抽台

(昭 62 : 高冷地開発センター)

品 種 温 度	5月6日		5月15日		5月25日	
	抽台率	抽台長	抽台率	抽台長	抽台率	抽台長
春 ま ち	0 %	- cm	0 %	- cm	0 %	- cm
お は る	20	1.3	30	0.4	15	0.4
いわて青首	20	0.2	20	0.3	0	-
最 低 気 温	3.9 °C		5.5 °C		9.6 °C	

抽台：肉眼で観察できる抽台長5cm以下のものも含む。

最低気温：は種後15日間の平均

表-2 収 量

(昭 62 : 高冷地開発センター)

は種期 (収穫期)	品 種	全 重 (g)	調整重 (g)	T/R率 (%)	障 害 根 率 (%)			収 量 (kg/a)	収量比
					腐敗	裂根	岐根		
(7.8)	春 ま ち	1353	1148	35.4	0	0	0	709	100
	お は る	1517	1238	38.7	0	0	0	764	108
	いわて青首	1558	1307	32.4	0	0	0	807	114
(7.14)	春 ま ち	1526	1204	46.9	0	0	0	743	100
	お は る	1668	1254	56.0	0	0	0	774	104
	いわて青首	1906	1448	49.4	0	0	0	894	120
(7.17)	春 ま ち	1231	937	59.9	0	20	0	463	100
	お は る	1459	1075	67.9	0	0	0	663	143
	いわて青首	1666	1278	53.8	0	0	0	789	170